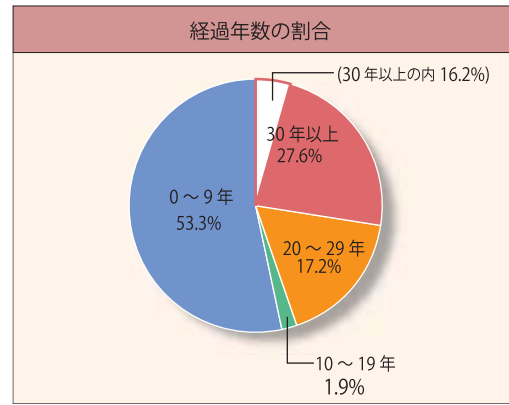
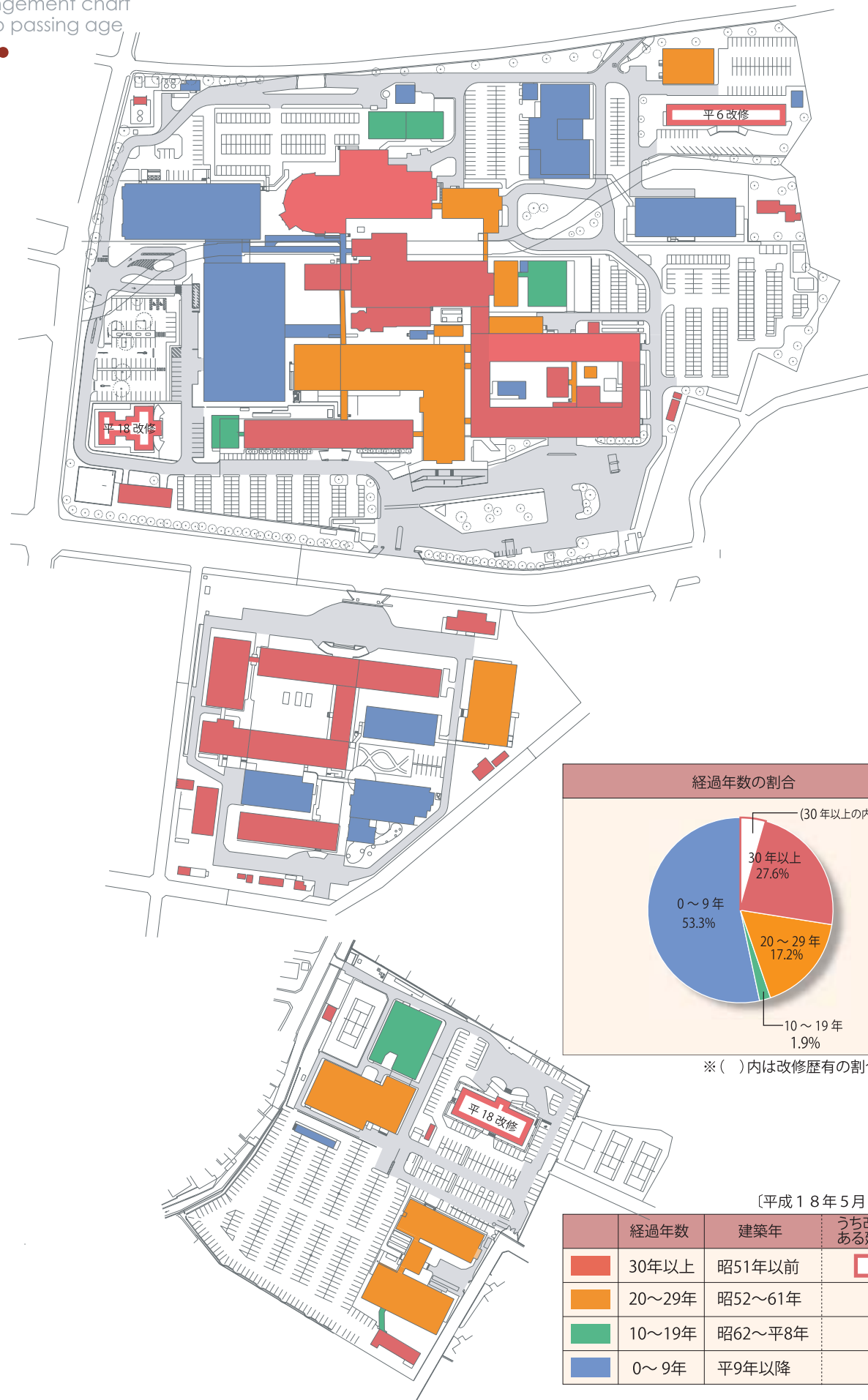


経年別建物配置図

Building arrangement chart according to passing age



(平成18年5月1日現在)

経過年数	建築年	うち改修歴のある建物
30年以上	昭51年以前	□
20～29年	昭52～61年	
10～19年	昭62～平8年	
0～9年	平9年以降	

現状施設のデータ

Data of current facilities

本荘キャンパスにおいて経年25年以上の建物面積は約7万㎡に上っている。その内改修実績のある施設は7千㎡で約1割程度に留まっており、老朽化が極めて著しい。また、図書館の整備率は24%と極端に低く、深刻な狭隘状況にある。今後は老朽施設の再生を積極的に行うことにより、既存施設の有効利用を図りつつ、教育、研究、医療機能の充実にに向けた整備を行う。

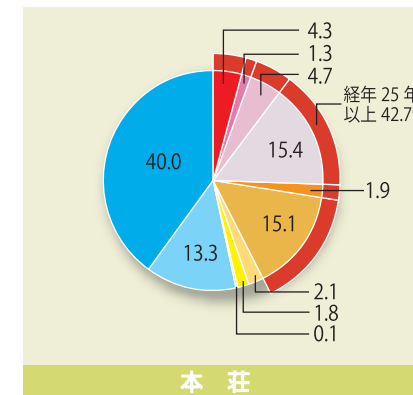
■面積区分毎の整備率

(平成18年5月1日現在)

面積区分	教育・研究施設	医学部附属病院	図書館	体育施設	支援施設	管理施設	設備室等
保有面積※ (㎡)	68,638	75,606	605	1,446	2,806	841	12,653
必要面積 (㎡)	71,790	70,176	2,534	464	1,811	951	12,637
整備率 (%)	96%	108%	24%	312%	155%	88%	100%

※保有面積とは、旧医学部基礎研究棟及び旧中央診療棟を除く面積を示す

■経年別保有面積の割合

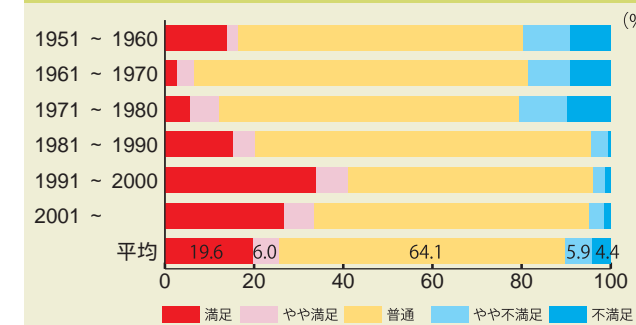


経過年数	建築年	(保有面積)	(改修済面積)※
50年以上	S31以前	6,961	864
45～49	S32～S36	2,125	
40～44	S37～S41	7,692	
35～39	S42～S46	25,119	6,444
30～34	S47～S51	3,106	
25～29	S52～S56	24,577	
20～24	S57～S61	3,401	
15～19	S62～H3	2,878	
10～14	H4～H8	102	
5～9	H9～H13	21,664	
0～4	H14～H18	64,970	
合計		162,595 (㎡)	7,308 (㎡)

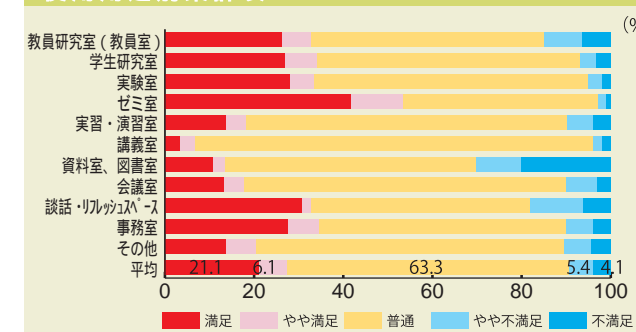
※改修後25年以上経過した面積を除外

■平成18年度室利用状況調査結果

完成年別集計表



使用用途別集計表



完成年別集計表によると、1951年から1980年築にかけてやや不満足、不満足と回答した割合が平均値を大きく上回り、特に利用者が不満と感じている。さらに、1951年から1990年築にかけて満足、やや満足と回答した割合が平均値以下であり、満足度が低い。これは、老朽建物の改修整備率が低いことが要因の一つと考えられる。今後、計画的に整備を実施していく必要がある。

使用用途別集計表によると、教員研究室(教員室)、資料室、図書室、談話・リフレッシュ等の室用途で不満足と感じている利用者が多い。特に、資料室、図書室では、不満足と感じている割合が平均値の3倍となっており、幅広い利用者へ供する施設であることから、室環境やバリアフリー対策に不満足と感じる利用者が多いことが解った。

CONTENTS

- 施設整備の基本方針
 - 熊本大学の理念・目的・目標
 - 熊本大学組織図
 - 大学施設整備の目的・目標
 - キャンパス計画のコンセプト

- キャンパス概要
 - キャンパス位置図
 - 現状施設

2.3 経年別建物配置と現状施設のデータ

- キャンパス計画・施設整備の将来構想
 - 施設整備の将来構想
 - キャンパス計画各論
 - 意匠計画の考え方
 - アメニティ空間の整備計画
- 将来構想に向けた具体的な整備方針と整備計画
 - 施設整備の方針
 - 施設整備計画